

商品安全 検査センターから

夏休み親子実験教室参加募集のお知らせ

いつも商品の検査を行っている商品安全検査センターで、親子実験教室を開催します。
実験教室を通じて、親子で楽しく「食」や「科学」について考えてみませんか。

① 開催日程と内容 ※当日は検査センター施設内見学も予定しています。 ※1教室6家族まで募集します。参加費は無料です。

① 7月31日(木)	10:00～11:30	固まる不思議 ～手作りラムネ&アイス～	低～中学年向き
② 7月31日(木)	13:30～15:30	豆から作ろう ～手作り豆腐～	中～高学年向き
③ 8月1日(金)	10:00～11:30	色変わり！ホットケーキ	低～中学年向き
④ 8月1日(金)	13:30～15:00	取り出せ、デンプン！～食品を科学しよう～	中～高学年向き
⑤ 8月2日(土)	10:00～11:30	固まる不思議～手作りラムネ&アイス～	低～中学年向き
⑥ 8月2日(土)	13:30～15:30	豆から作ろう～手作り豆腐～	中～高学年向き



低～中学年向き
固まる不思議 ～手作りラムネ&アイス～ おやつ科学
冷蔵庫や冷凍庫を使わないで、「冷やす」「固まる」を体験しましょう。できあがったものは、楽しく試食できますよ。

色変わり！ホットケーキ

いつものホットケーキミックスに「あるもの」を入れて焼くと、おもしろいことが…。身近にあるものの性質を、楽しく知ることができる実験教室です。

豆から作ろう～手作り豆腐～

大豆から豆腐作りを体験しましょう。自分で作った豆腐は、とっても美味しいですよ！

取り出せ、デンプン！～食品を科学しよう～

イモからデンプンを取り出し、体内の酵素の働きや、ヨウ素デンプン反応などを楽しく学びます。

② 会場 東海コープ事業連合 商品安全検査センター（駐車場有）

住所：愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-178（リニモ芸大通駅から徒歩4分）

③ 注意事項

親のみ、子どものみの参加はご遠慮ください。小学生未満のお子さまも同伴できますが、保護者の方は目を離さないようにお願いします。

④ 申し込み方法 電話またはFAXで以下をお知らせください

- ①申し込み者名(組合員名) ②ご利用生協名
③参加人数(大人〇人、子ども〇人) ④住所(郵便番号をそえて)
⑤電話番号(FAX番号)

⑥参加教室

(第2希望までお伺いします。希望日、コース名をお知らせください。)

⑦駐車場の必要の有無

受付後、受付番号をお知らせします。届かない場合は、お手数ですが必ずご連絡ください。キャンセルされる場合はなるべく早く必ずご連絡ください。なお、お伺いした個人情報については親子実験教室の目的以外には使用いたしません。

⑤ 申し込み期間 6月下旬～7月15日(火)17時まで

申し込み多数の場合は抽選とし、結果は当選落選に関わらず、郵送でお知らせします。抽選結果の電話でのお問い合わせは、7月17日(木)以降に受け付けます。お問い合わせの際は、受付番号をお知らせください。

⑥ お問い合わせ・お申し込み先

Tel：0561-64-3278 FAX：0561-61-3346
日曜日除く9:00～17:00

2013年度 第12回理事会だより | 5 / 9 |

① 4月期決算について承認しました

4月度事業結果 単位:百万円

	4月実績	計画比(%)	累計実績	計画比(%)
商品の供給高	1,999	109.3	1,999	109.3
総事業高	2,053	109.0	2,053	109.0
事業経費	471	98.2	471	98.2
経常剰余金	▲9	14.9	▲9	14.9

組合員数 221,686名 計画比100.0% (加入954名)
出資金 38億8,418万円 一人当たり出資金17,521円

② 第16回通常総代会の議案(第1号議案、第2号議案)について確認されました。

③ 行政・対外関連の各種委員、日本生協連・東海コープ事業連合で開催される通常総会の代議員等が確認されました。

④ 共同購入事業関連

① 牛肉分野の品揃えの充実として、国産牛肉を中心に品揃えを進めながら、国産牛では提供できない部位や価格帯としてアメリカ産牛を取り扱う事が確認されました。

② 組合員さんの声から商品を選定し、生協商品の味や良さを実感していただけるよう、有料のお試し企画を6月1週から毎週企画する事が確認されました。

⑤ 機関・組織運営関連事項

① 平和の取組みとして、岐阜県被爆者の会からの「ふたたび被爆者をつくらぬ決意を世界に(現行法改正を求める請願署名)、日本生協連からの「核兵器禁止条約の交渉開始を求める署名」の2つの署名活動に取り組む事の報告がありました。

② 2014年度すすめる「商品モニター活動」「組合員レポーター企画」について報告がありました。

③ 富加町・瑞穂市・坂祝町と、見守りネットワークの協定を締結した事の報告がありました。

震災で、大きな被害を受けた沿岸部の人たちは、長年培ってきたコミュニティを離れ、バラバラに暮らさざるを得ない状況へと追い込まれました。仮設住宅も様々な地域から入居した人が多く、コミュニティの分断はいつそう進みました。仮設住宅では新たなきずなも生まれましたが、結局は自立までの仮のコミュニティに過ぎません。

今後は、民有地の返還にともなう仮設住宅の集約・統合が、住民を待ち構えています。「災害公営住宅など終の棲家(ついのすみか)



手芸品づくりや、さまざまな行事に利用されているひまわり集会所。この日は市から依頼されたコースターを制作していました。

への転居なら、落ち着いて暮らせるからまだいいのです。でも仮設から仮設に移り、災害公営住宅の入居を待ちながら、もう1度、知らない人たちと交友関係を結んでいかなければならないなんて…。ストレスでしかありません」。被災した人々は、自分たちのコミュニティが壊れていく現場に立ち会ってきました。それは想像以上に重い負担だったに違いありません。この3年のあいだには、故郷に戻りたくても戻れず、気力も体力も弱って仮設住宅で亡くなった高齢者も多数います。

福祉活動助成基金贈呈式が行われました



「NPO法人心泉会(各務原市)さんへの福祉活動助成基金贈呈式の様子」

2006年の制度開始以来、これまでに、134団体、約2370万円の助成を行っています。

精神障がいをもつ方の通所施設「クラブハウスゆうせん」を運営されているNPO法人心泉会さん。今回、キッチンの改修のために応募されました。管理者の北野敬子さんは「施設では、スタッフと利用者が20名ほどで昼食づくりをしています。今後、安全に行えるよう改修したいと思います」と話しました。

コープぎふでは組合員さんが参加する福祉活動(事業・活動・研究)を応援するための、福祉活動助成基金を運用しています。2014年度助成団体が決定し、5月27日(火)、コープぎふ本部において、Aコース(100万円を限度に施設・建物整備事業を対象に助成)の助成対象となった「NPO法人心泉会」(各務原市)への贈呈式が行われました。

仮のコミュニティに 身を寄せて



第8回

3・11を忘れない みやぎ生協から 被災地・宮城のいまをお伝えします

コープぎふは、東日本大震災の復興対策に継続して取り組んでいます

